

## 特別企画講座

### 甲賀の古社

講師 西山 克 京都教育大学名誉教授

伊賀市と亀山市に隣接する甲賀市は古代から都との関係が深く、西山先生から甲賀の神社仏閣は見るべきものが多いから行ってみましょうとのご提案をいただき企画しました。メインの油日神社は南鈴鹿山脈の霊峰油日岳の麓に鎮座し、創建は聖徳太子の頃とも天武天皇の頃ともいわれます。油日岳の山頂に油の火のような光と共に神が降臨したことから油日の名がついたとも伝えられています。国指定の重要文化財である本殿、拝殿、楼門が一直線に並び、楼門の左右からやはり国の重文の回廊が伸びる堂々たる建築様式です。映画テレビのロケ地にもなり、「わろてんか」「信長協奏曲」「居眠り磐音」など、ご覧の方も多いでしょう。近くにある櫛野寺は伝教大師最澄が彫ったと伝わる十一面観音を安置したのが始まりとされています。残念ながら秘仏で拝観はできませんが、甲賀三大仏といわれる薬師如来坐像をはじめ、18体にも及ぶ重文の平安時代の仏さまが宝物館に収められそれは見ごたえがあります。その近くには瀧樹神社、倭姫命が天照大御神を奉じて甲賀日雲宮に4年間とどまられた時にお食事を調理したお宮とつたわります。境内には樹齢6~700年の杉のご神木もあり、この神社の歴史を物語っています。そして京都祇園西門を模した大鳥神社、祭神のスサノオノミコの本造は国の重要文化財になっています。甲賀って忍者だけじゃないのですよ。

日時 4月9日(木) 8:00~18:00 参加費 会員 10,000円 ビジター 11,000円(バス代・食事代・拝観料・保険料含む)  
集合場所 7:55に五十鈴川駅集合 定員 18名限定

五十鈴塾塾長  
民俗学者

### 神崎宣武 特別講座

神崎 宣武 旅の文化研究所所長・文化庁文化審議会専門委員

### 旅する神々⑦ ~吉備津彦命と温羅~

時代は3世紀末。大和・出雲と拮抗するかのよう国造りの進んだ吉備に海の彼方の遠国から温羅が飛来しました。乱暴狼藉をつくり、地主神たちの手に負えないところに四道将軍の吉備津彦命(第7代孝霊天皇の皇子)が3人の家来とともにやってきて戦い退治します。そしてその首を吉備津彦神社の釜の下に封じたと伝わります。この伝説が吉備津彦神社創建の基となり、鳴釜神事(祈祷)を伝えることとなりました。またこの伝説がおとぎ話の桃太郎を生むモチーフとなったといえます。なぜ遠国から吉備へ、なぜ大和から吉備へ、今回は伝説の中での虚実を解いてみます。

日時 4月2日(木) 18:30~20:00 参加費 会員 1,150円 ビジター 1,650円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### 『「日本」に出会う』シリーズ 第15回

#### 五十鈴川河畔の花見

※桜の開花状況などにより日程を変更する場合があります。

日本人の春の一大イベント「お花見」、今年は五十鈴川河畔の杉風荘で優雅に美しくいたいと企画しました。杉風荘には大きな一本の桜があってそれはそれは見事です。五十鈴塾に集合したあと、「とうふや」で対岸の桜を愛でながらお花見弁当を味わい、五十鈴川の河畔を杉風荘まで歩きます。大和に都があった頃は大陸文化の影響で梅が最も好まれていました。万葉集にある梅を詠んだ歌は110首、桜は43首、圧倒的に優位でした。では桜は見向きもされなかったかという、実は神様の木として敬われていたのです。そして平安時代に入ると自国の文化を大事にしようという風潮が生まれ、桜は一躍主役の座に躍り出たのです。そんな桜にまつわるお話を神崎塾長に伺いながらお抹茶とお花見にちなんだ和菓子をいただくという桜三昧の一日です。

日時 4月3日(金) 11:15~14:00 参加費 会員 5,000円 ビジター 5,500円(食事・抹茶・お菓子付き)  
場所 杉風荘 集合場所 11:15に五十鈴塾集合 定員 25名限定

### 旬を食す

講師 村林 新吾 相可高校食物調理科専門調理師教諭

「旬」という言葉がありますが、最近ほとんど忘れられているほど、いつでもどこでも材料が手に入る世の中になりました。しかしながら自然には逆らえないので、天然のものを食べようと思うとその時期しか手にはいきません。初カツオは江戸っ子ではないけれど女房を質においてでも食べたいほど美味しく、野菜はその時期でない素材そのものの味はしません。確かに豊富な材料が店先にあるのはありがたいことだし、値段もそこそこなのでたすかります。しかし旬のものはまた、栄養価も高いというメリットがあります。季節感は温度や風景だけでなく食からも味わうことができます。食卓から季節を感じられるように、価格もお安いその時々のものが食卓に並ぶようにしませんか？今回は村林先生に「旬」にまつわるお話を伺い、初夏の食材を使った生徒たちの手料理を楽しみましょう。

日時 5月24日(日) 11:00~13:30 参加費 会員 3,500円 ビジター 4,000円(食事代含む)  
場所 五十鈴塾左王舎 定員 20名